

2024年5月21日

量産型燃料電池式可搬形発電装置の開発について

デンヨー株式会社

本社・東京都中央区日本橋堀留町 2-8-5

代表取締役社長・吉永隆法

デンヨーは、株式会社豊田自動織機が新たに開発した汎用型の燃料電池モジュール（以下、FCモジュール）を採用して発電容量 7kW の量産型燃料電池式可搬形発電装置の開発に着手しましたのでお知らせ致します。

採用したFCモジュールは、トヨタ自動車株式会社の燃料電池自動車「MIRAI」に搭載されている第2世代燃料電池セルを使用したFCスタックに加え、エアコンプレッサー、水素循環ポンプなどをパッケージ化したものです。

当社では、地球温暖化の原因となるCO₂の排出量を削減するための手段のひとつとして、水素を使って発電する燃料電池が有効であると考え、2019年から燃料電池式可搬形発電装置を開発し実証試験を行ってまいりました。実証試験で得られた知見をもとに、FCモジュールの冷却構造を独自開発し、容積比2割減の小型軽量化となる量産型燃料電池式可搬形発電装置の開発を進めています。小型軽量化により可搬性が向上し、屋外現場へのスムーズな移動と容易な設置は、作業効率性のアップを実現します。

なお、2024年5月22日～24日に幕張メッセで開催される第6回 建設・測量生産性向上展（CSPI-EXP02024）に参考出展いたしますので、是非ご覧下さい。



<本リリースに関するお問い合わせ先>

デンヨー株式会社 研究開発部 Tel : 049-280-7770